

「第 11 回オープン！子ども・家庭大臣室」

～上川大臣と 10 代青少年との懇談～

■開催状況

- ・日時 平成 20 年 3 月 31 日（月）15:00～16:05
- ・場所 上川陽子内閣府特命担当大臣室
- ・出席者
 - 【千葉県流山市立東深井中学校（卒業）のみなさんと先生】
今井美咲さん、河野健太さん、高田千暁さん、野木拓馬さん、山田諒さん
長妻孝幸先生
 - 【内閣府】上川陽子内閣府特命担当大臣
東良信内閣府審議官
荒木二郎内閣府大臣官房審議官

■概況

千葉県流山市立東深井中学校を今春卒業された 5 名のみなさんと先生を大臣室にお招きし、意見交換を行いました。

（大臣より）

- ・ 今日はいよいよ大臣室へ。昨年 8 月の大臣就任以来、地域の中に入って皆さんの声を聞いたり、大臣室にお客様をお招きするという機会を重ねてきました。中学生の世代、10 代の青少年の話を知りたいと思っていたところ、河野さんの作文に出会い、お友だちとご一緒にお招きしたいと考え、今日開催することができました。
- ・ これから高校生になって、楽しみや希望や夢もあると思います。職場体験なども積極的に行っている中学校とも聞いていますので、今日は普段の皆さんの考えを話してもらいたいと思います。

（河野健太さんより）

- ・ 平成 19 年度少年の主張全国大会（主催：（社）青少年育成国民会議ほか）に千葉県代表として出場し、国民会議会長奨励賞を受賞した河野健太さんに、「人は変わる」と題した意見発表をしていただきました。

（※発表内容については、（社）青少年育成国民会議のホームページ

<http://www.nayd.or.jp/action/action1/ss/2007/05chiba.txt> を御覧ください。）



大臣の前で意見発表をする河野健太さん

(懇談)

その後、中学校における職場体験実習、携帯電話の利用、将来の夢や希望、社会への期待などについて懇談を行いました。



皆さんと懇談する大臣

(大臣より)

- 自分の中の喜び、自分でやったという達成感が大切です。これから社会に出て行く中で色々なことがあると思いますが、自分で自分自身を客観的に見つめることが大切です。自分自らの幸せづくりを努力する中で、人に対する思いやりの心も育っていきます。
- 自分の生き方を選び、自信を持って、社会と積極的にかかわってください。そして、その結果には責任を持てるような大人になってください。
- 今日はありがとうございました。



皆さんと一緒に記念撮影

■大臣からのメッセージ ～10代青少年との懇談を終えて～

現在、政府では、平成15年12月に策定した「青少年育成施策大綱」という政府方針の見直し作業を進めています。これまで青少年施策の主人公である青少年の視点を忘れずに施策の推進に取り組んできましたので、大綱見直し作業の段階で、10代の青少年のみなさんをお招きして、将来の夢や希望、社会への期待などについて直接お話することができ、本当にうれしく思っています。

大人への成長には発達段階に応じた知識の習得や経験の蓄積が不可欠であり、様々な体験が、自然に心や身体の「栄養」となり、その人の財産となります。そういう意味で、東深井中学校が積極的に取り組んでいる職場体験実習は大変意義深いものです。

若いみなさんの元気な姿に触れ、立派な大人への成長を確信するとともに、今後とも青少年の視点に立った施策を推進するため、まずは新しい青少年育成施策大綱の策定に全力で取り組んでまいりたいと改めて決意しました。

(以上)